

2026年2月7日 救急隊到着前に意識回復。スキー場のパトロール隊がAEDで26歳の命を救う

昨年12月、大分県のスキー場でリフト上の男性（26）が心肺停止状態に陥る事案が発生しました。駆けつけたパトロール隊は、即座に現場で心臓マッサージを開始。現場へ持参したAED（自動体外式除細動器）を装着し、的確な処置を継続しました。この迅速な対応により、救急隊が到着した時には男性はすでに意識を取り戻していました。日頃の訓練と、AEDを現場へ直行させたスピード感が、若き命を繋ぎ止めた。

情報ソース <https://news.yahoo.co.jp/articles/8cc055c22c07f059343358fcc872226edadfa87a>

2026年2月5日

元メジャーリーガー五十嵐亮太氏がAEDで人命救助に貢献。「AEDを！」の叫びが救急車到着前の命を救う

2月5日、人が倒れ騒然とする現場に居合わせた元ヤクルト・五十嵐亮太氏。周囲がパニックに陥る中、五十嵐氏は一人落ち着いて「AED！AED！」と叫び、機器を求めました。AED（自動体外式除細動器）が到着するまで絶え間なく心臓マッサージを行い、到着後は速やかにAEDを装着・処置。この迅速な対応により、倒れた男性は一命を取り留めました。現場にいたお笑い芸人の真栄田賢氏も「処置が早かったからこそ助かった」とその姿に感動。プロスポーツ選手ならではの決断力と、AEDという備えが結んだ救命劇となりました。

（情報ソース <https://hochi.news/articles/20260205-OHT1T51245.html?page=1>）

2026年2月3日 イオンモール日吉津での迅速な人命救助に感謝状。AEDと連携が命を救う 鳥取

イオンモール日吉津で倒れた80代男性を、店員と客が協力して救出！「脈がない」との声に応え、スタッフがAED（自動体外式除細動器）を確保し、居合わせた医療従事者らと心肺蘇生を実施しました。約9分後の救急隊到着時には意識を回復。後遺症のない無事な退院につながりました。日頃の訓練と、一步踏み出す勇気が結んだ素晴らしい連携プレーに、消防から感謝状が贈呈されました。

（情報ソース <https://www.asahi.com/articles/ASV224108V22PUUB00CM.html>）

2025年12月

【救命事例】自転車で駆けつけAEDを搬送。70代女性が後遺症なく社会復帰した「連携の力」

2025年8月、大泉緑地内の遊歩道で70代女性が心肺停止状態で倒れました。発見者の通報と胸骨圧迫が続く中、管理事務所の職員が事務所設置の「まちかどAED（自動体外式除細動器）」を自転車で約700m離れた現場まで急送。現場に居合わせた人々が計2回の電気ショックを実施し、絶え間なく救命処置を継続しました。その結果、女性は救急車内で心拍・呼吸が再開。搬送から17日後には後遺症なく退院し、無事に社会復帰を果たされました。迅速なAEDの持ち出しと、迷わない使用が命を繋ぎ止めた。

<https://www.city.sakai.lg.jp/kurashi/bosai/shobo/shimin/kyukyu/aed/31433920221031105451706.html>

2025 年 10 月 スタバの AED が救った命 ランニング中に意識を失った男性（60）と 4 人の冷静で勇気ある行動 福岡市

福岡市の大濠公園でランニング中の 60 代男性が心肺停止状態で倒れました。この窮地を救ったのは、近隣のカフェ（スターバックス）に設置されていた AED（自動体外式除細動器）でした。居合わせたランナーらが即座に心臓マッサージを開始し、別の市民がカフェから AED を確保。AED の使用経験がある店員も現場に駆けつけ、電気ショックを実施しました。救急隊が到着するまでの約 10 分間、絶え間ない救命活動が行われた結果、男性は社会復帰ができるまでに回復されました。

<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/2254292?display=1>

2025 年 8 月 心肺停止が疑われる同僚の男性を AED など使い人命救助 男性 5 人に感謝状贈呈

那覇市にてタクシーに乗ろうとした男性が意識不明で倒れる事案が発生しました。居合わせた知人の男性ら 5 人は、即座に近くのコンビニへ走り AED（自動体外式除細動器）を確保。迅速な心肺蘇生と AED の使用により、男性は病院搬送後に心筋梗塞と診断されたものの、数日後には意識を取り戻しました。「何とか生き返らせようと体が自然に動いた」と語る救助者の勇気と、身近な場所に設置されていた AED が、一人の命を後遺症のない完全な社会復帰へと導きました。

<https://www.qab.co.jp/news/20250821263190.html>

2025 年 7 月 心停止で倒れた男性を助けた 6 人に感謝状 連携して心臓マッサージや AED で救命措置

JR 東京駅で倒れた 50 代男性を、周囲に居合わせた 6 人が連携して救出。現場では救急車の到着を待たずに心臓マッサージと AED（自動体外式除細動器）による救命措置が行われました。データによると、119 番通報後に何もしなかった場合の生存率は 7.3% ですが、AED を使用することで 54.2% にまで跳ね上がります。今回、上級救命講習を受講していたメンバーが迷わず AED を使用したことが、男性の社会復帰という最高の形に繋がりました。AED は、プロの到着を待つ間の「空白の 10 分間」を埋める唯一の希望です。

<https://s.mxtv.jp/mxnews/article/chiiki/1gb6ig9f49fs4y4ft.html>

2025 年 11 月 テニス中に倒れた 70 代男性を AED で救命！コーチらに感謝状

岡山市のテニススクールでレッスン中の男性が突然倒れ、心肺停止状態となりました。異変に気付いたコーチの齊藤氏と受講仲間の石井氏らは、即座に施設備え付けの AED（自動体外式除細動器）を準備し、心臓マッサージを開始。齊藤氏は過去に数回救命講習を受けていましたが、「いざという時は緊張で手が震えた」と振り返ります。一度の電気ショックでは意識が戻らず、マッサージを繰り返した結果、救急隊の到着時には男性の意識が回復。日頃の講習と AED の設置場所確認が、一人暮らしの男性の命を繋ぐ決定打となりました。

<https://www.asahi.com/articles/ASTCC3S3BTCCPPZB00FM.html>

2026 年 2 月「心臓突然死をなくそう」小学生が AED の使い方などを学ぶ

佐賀県有田町の曲川小学校にて、医師や救急救命士による心肺蘇生法の出前授業が開催されました。毎年約 7 万人が心臓突然死で亡くなっている現状を受け、6 年生約 50 人が AED（自動体外式除細動器）の正しい使い方や胸骨圧迫（心臓マッサージ）の実技を体験。「実際にやってみると想像以上に硬くて難しかった」という児童たちの声は、実機に触れる教育の重要性を物語っています。幼少期から AED に親しみ、救命の知識を持つことで、地域全体の「救命の連鎖」を強くする取り組みです。

<https://www.sagatv.co.jp/news/archives/2026020622334>

AED の一般解禁から 20 年、延べ約 8000 人を救命、より救うには...

1. 救急車を待つだけでは「10 分」で命を失う

心臓が痙攣する「心室細動」による突然死は、かつては防げないものと考えられていました。

しかし、20 年前の AED 一般解禁によりその常識は一変。延べ約 8,000 人の命が救われてきました。

心室細動は発症から 10 分で死に至ります。その場に AED があり、3 分以内に電気ショックを行えば、7 割が助かるのです。

1. AED が命を救う：救命率は「5 倍」に

心停止から 10 分で死に至る中、救急車の到着を待つだけでは生存率はわずか。しかし、3 分以内に AED を使用すれば生存率は 50% を超えます。救急車に通報のみ（救命率 7.3%）に比べ、AED を使えば約 2 人に 1 人が助かります。

2. 操作は簡単：「電子レンジ」と同じ

専門知識は不要です。音声ガイドや液晶画面の指示に従うだけで、誰でも操作できます。最新の「オートショック AED」なら、ボタン操作すら不要で自動的に電気ショックが行われます。

3. 法的責任やプライバシーも安心

善意の救命行為で責任を問われることはありません。また、プライバシーに配慮し、服をすべて脱がさずに処置する方法も確立されています。

<https://natgeo.nikkeibp.co.jp/atcl/news/25/022700112/?P=1>